

第29回 全国街路事業コンクール応募資料

ふりがな		えひめけんどうぶくどうろとしきよとしせいびか
応募者名		愛媛県土木部道路都市局都市整備課
街路事業	ふりがな	やわたはまとしけいかくどうろ 3・4・2ごう しらはまおおひらせん
	事業の名称	八幡浜都市計画道路 3・4・2号白浜大平線
	ふりがな	えひめけん
	事業主体	愛媛県
	ふりがな	えひめけんやわたはまし
	実施都市名	愛媛県八幡浜市
事業概要 (400字以内)		<p>八幡浜都市計画道路3・4・2号白浜大平線は、現在建設中の地域高規格道路「大洲・八幡浜自動車道」八幡浜ICと八幡浜港を直結する道路であり、平成17年3月に合併した八幡浜市中心部と旧保内町の中心部を大洲・八幡浜自動車道「名坂道路」を経由して結ぶ幹線道路である。</p> <p>本区間は、八幡浜ICと八幡浜港を結ぶ区間のうち、唯一未整備となっており、近隣には学校、病院があり児童・高齢者が多く非常に危険な状態となっている。さらに1日約90便利用されているバス停が4箇所(片側2箇所)あるが、バス停車帯は未整備となっている。</p> <p>このため、八幡浜市と連携し、地域高規格道路完成後の大型車の増大への対応、市内の渋滞緩和、また、交通弱者の安全確保等を目的に整備を行う。</p>
事業規模		<p>○事業延長:0.4km</p> <p>○事業費:15億円</p> <p>○幅員:17m(2車線)</p> <p>○事業期間:平成18年度～平成27年度</p>
事業の目的		<ul style="list-style-type: none"> ・地域高規格道路完成後の大型車の通行量増加への対応、四国・九州航路の四国側最寄港へのアクセス性の向上 ・八幡浜市内の渋滞緩和 ・歩道新設に伴う歩行者の安全確保
事業効果	事業効果項目	・様式2のとおり(該当項目にチェックを付す)
	事業効果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地域高規格道路大洲・八幡浜自動車道八幡浜ICと四国・九州航路最寄港の八幡浜港を直結し、物流のアクセス性を向上 ・バス停車帯整備により「都市内公共交通機関の支援」を行い、公共交通の利便性を向上 ・歩道新設に伴い、八幡浜市立白浜小学校通学における通学生の安全性を向上
	定量的効果 (検証済の場合記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣主要交差点(大平交差点)の交通量が増加 (H15)18,856台/12h→(H28)(H15)22,378台/12h ・近隣主要交差点(大平交差点)の最大渋滞長が解消 (H15)最大400m→(H28)0m
地元対応等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民との協働等 ・事業反対等はあったか ・合意形成等を図ったか ・地域に配慮した点 ・その他 <p>・八幡浜市施行区間と連続する区間であり、八幡浜市との連携と協同で事業を推進</p> <p>・整備区間には八幡浜市の地域医療を担う主要総合病院(120床)が隣接しており、移築の調整や工事時の騒音・振動等に配慮</p> <p>・整備区間の近隣には八幡浜市立白浜小学校があり、工事施工中における通学生への安全に配慮</p>	

事業効果一覧表

大項目	中項目	小項目	指 標	該当項目
事業 の 効果	円滑な交通	物流を支える	<ul style="list-style-type: none"> ・整備水準の低い地域の改善に寄与した。 ・道路ネットワークの形成に寄与した。 	◎
		渋滞のない交通環境を実現	<ul style="list-style-type: none"> ・交通渋滞の緩和・解消に寄与した。 	◎
		公共交通の利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> ・バス、鉄道の利便性向上に寄与した。 	○
	安心・安全な生活	安全な道路交通の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の防止に寄与した。 	△
		誰もが通しやすい歩行空間の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者・自転車の安全な通行空間の確保に寄与した。 	◎
		災害に強い安全な市街地、集落の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時における安全性の向上と円滑な避難・救援に寄与した。 	
	まちづくり・地域活性化	都市（地域）連携を進める	<ul style="list-style-type: none"> ・中心都市へのアクセス向上やまちづくりに寄与した。 	
		都心の活力を高める	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地の活性化に寄与した。 	
		地域経済の振興を支援する	<ul style="list-style-type: none"> ・都市（地域）の経済活動の拡大に寄与した。 	
	アメニティの向上	沿道環境の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・沿道環境の改善や充実に寄与した。 	
		うるおいのある道路空間の創出	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の景観に配慮し、良好な道路空間等の創出に寄与した。 	
		歴史・文化の保全	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史・文化の保全に配慮し、歴史的景観等の創出に寄与した。 	
	事業実施に伴う効果	コスト縮減等	<ul style="list-style-type: none"> ・工費節減に工夫を凝らし、実績を上げた。 ・事業期間の短縮や環境対策などの社会的コスト縮減を図った。 	
		事業期間等	<ul style="list-style-type: none"> ・当初の事業期間を短縮し、前倒して供用開始した。 ・短い事業期間で大きな事業効果を発揮した。 	

※当該事業において、最も事業効果が現れたものから重み付けをしてください。

◎効果大 ○効果中 △効果小

第29回 全国街路事業 コンクール応募資料



平成28年11月

応募者名：愛媛県土木部道路都市局都市整備課

事業の名称：八幡浜都市計画道路 3・4・2号白浜大平線

実施都市名：愛媛県八幡浜市

事業の目的

八幡浜都市計画道路3・4・2号白浜大平線は、現在建設中の地域高規格道路「大洲・八幡浜自動車道」八幡浜ICと八幡浜港を直結する道路であり、平成17年3月に合併した八幡浜市中心部と旧保内町の中心部を大洲・八幡浜自動車道「名坂道路」を經由して結ぶ幹線道路である。

本区間は、八幡浜ICと八幡浜港を結ぶ区間のうち、唯一未整備となっており、近隣には学校、病院があり児童・高齢者が多く非常に危険な状態となっている。さらに1日約90便利用されているバス停が4箇所(片側2箇所)あるが、バス停車帯は未整備となっている。

このため、八幡浜市と連携し、地域高規格道路完成後の大型車の増大への対応、市内の渋滞緩和、また、交通弱者の安全確保等を目的に整備を行う。

事業概要

事業名：八幡浜都市計画道路 3・4・2号白浜大平線

路線名：3・4・2号 白浜大平線

事業箇所：八幡浜市白浜通～八幡浜市大平5丁目

事業延長：385m

幅員：17m(2車線)

総事業費：約15億円

総事期間：平成18年度～平成27年度

事業位置図

地域高規格道路 大洲・八幡浜自動車道

名坂道路(開通済)

八幡浜道路(整備中)

至伊方町・伊予市

保内IC

神越高架橋
(L=245 m)

(国)197号

八幡浜IC完成イメージ
(※八幡浜道路完成後)

八幡浜東IC

至大洲市・松山市

千丈トンネル
(L=1809m:工事中)

八西トンネル
(L=1865 m)

大平高架橋
(L=185 m)

八幡浜IC

松柏トンネル
(L=1090 m:未着手)

市立八幡浜
総合病院

3・4・2号 白浜大平線

八幡浜市役所

(国)197号



八幡浜港



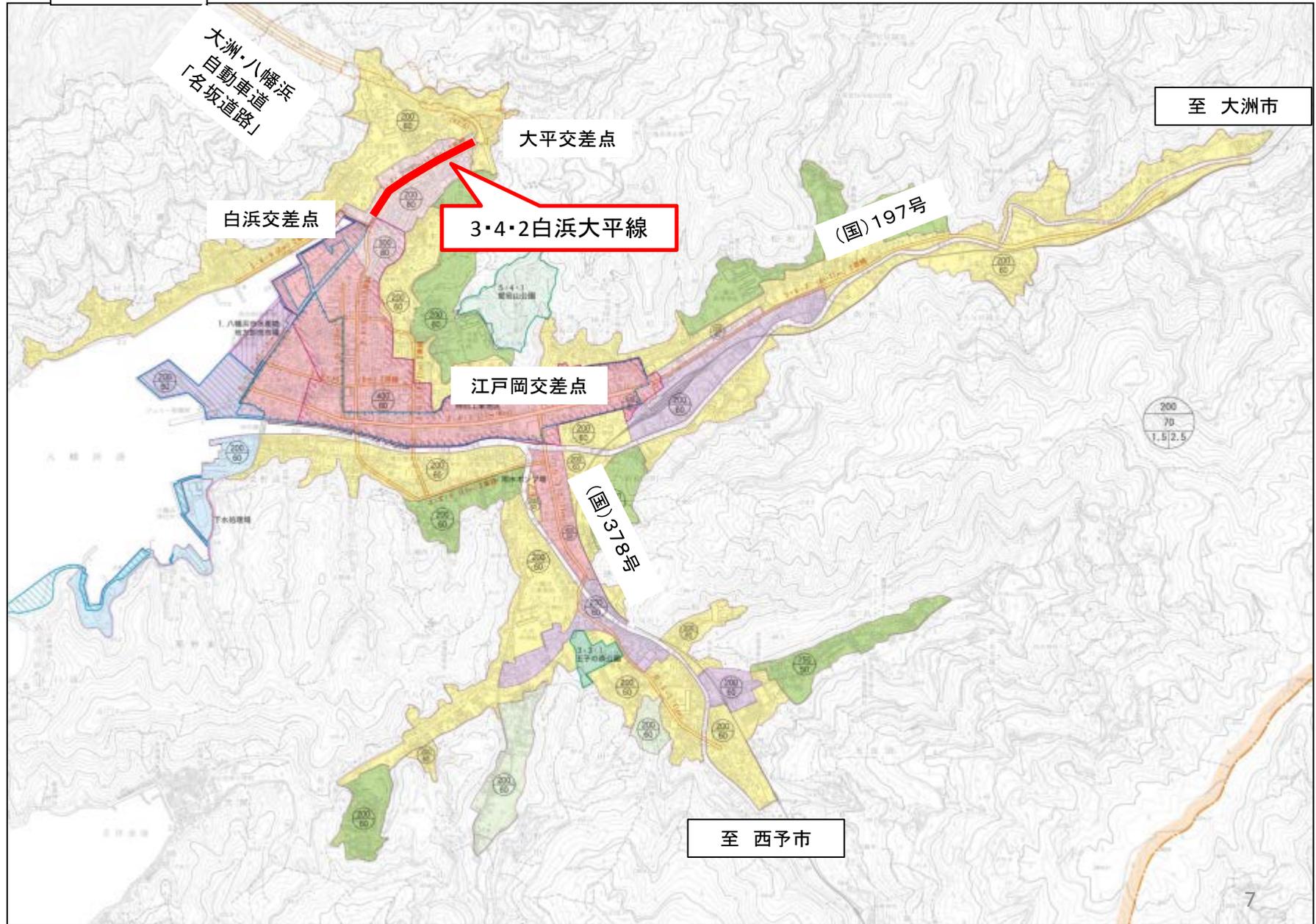
至西予市・宇和島市

九州(別府・臼杵)
方面へ

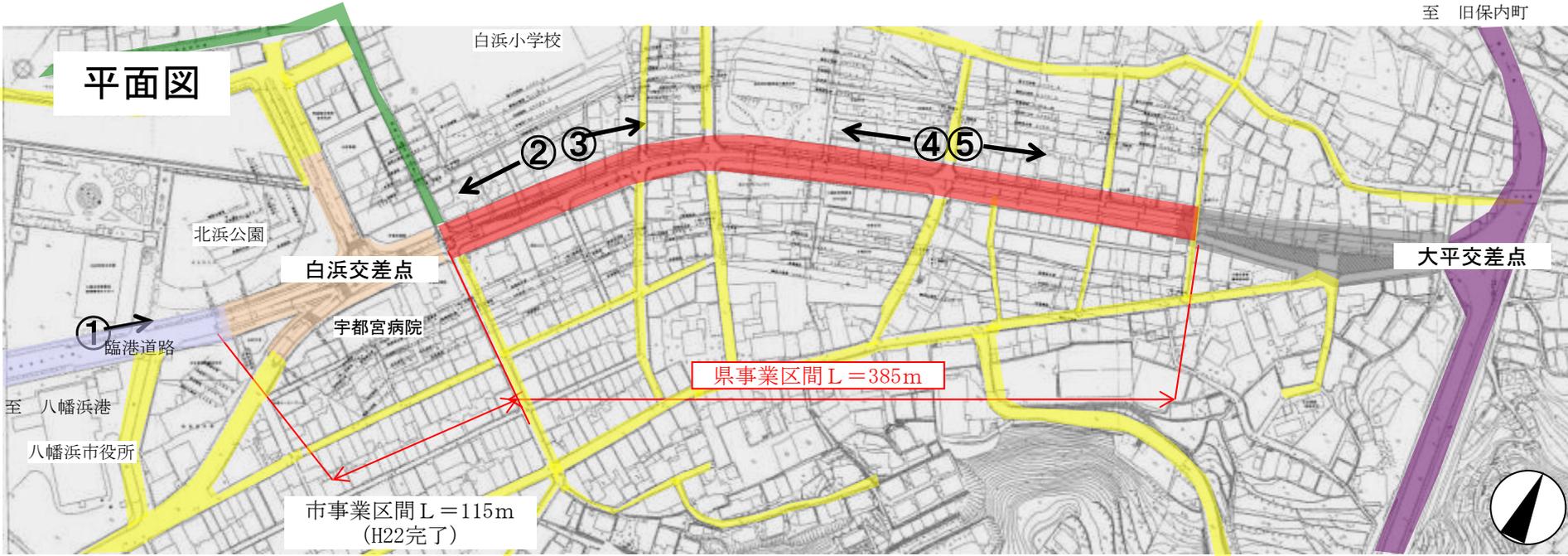
八幡浜市都市計画街路網図

至 旧保内町

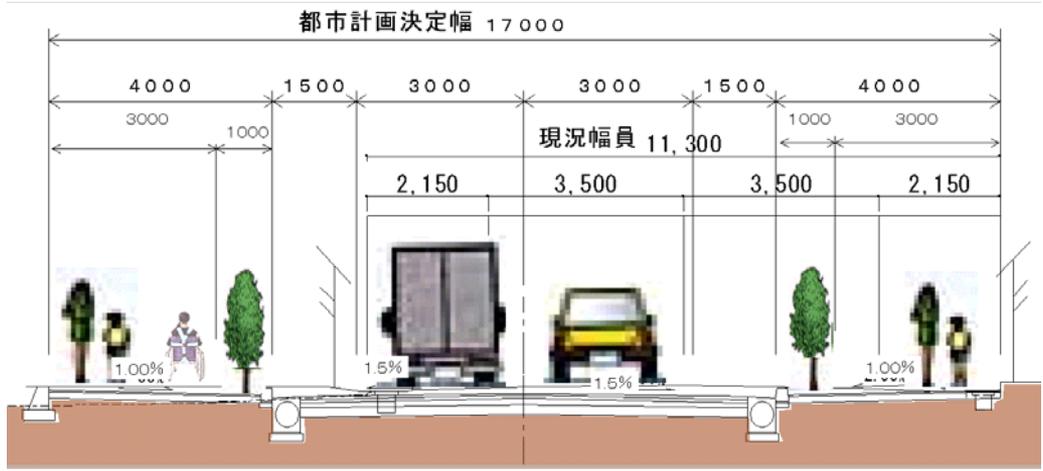
至 大洲市



全体図(平面図・横断図)



標準断面図



整備効果アピール資料

整備前



整備後



- 児童・高齢者の安全確保
- 大洲・八幡浜自動車道へのアクセス向上

○当該事業及び大洲・八幡浜自動車道「名坂道路」の開通により、利用台数は増加しているが、渋滞長が短くなるなど、利便性は高くなっている

交通量調査 平成28年2月9日実施

- 交通量(白浜交差点) (H15) 6,515台/12h ⇒ (H28) 7,680台/12h
- 交通量(大平交差点) (H15) 18,856台/12h ⇒ (H28) 22,387台/12h
- (最大)渋滞長(大平交差点) (H15) 400m ⇒ (H28) 渋滞なし

事業前写真

平成19年撮影



事業後写真(1)

平成27年5月撮影



事業後写真(2)



平成27年5月撮影

平成27年5月撮影



事業後写真(3)

④



平成27年10月撮影

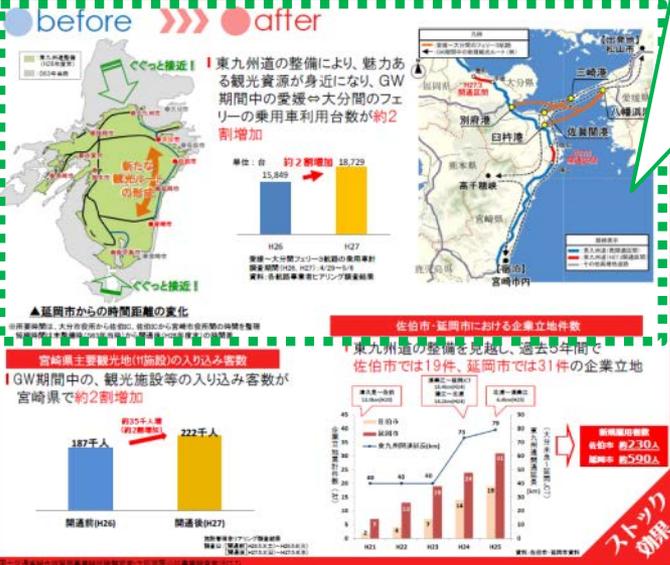
平成27年10月撮影

⑤



【参考】東九州道の開通と四国・九州航路との関係性

九州東岸の観光・産業を支援する東九州道



東九州道の整備により、魅力ある観光資源が身近になり、GW期間中の愛媛⇄大分間のフェリーの乗用車利用台数が約2割増加

